

ChatGPT o3-mini-high

ChatGPT 4.5 の概要と評判について調査します。

- **技術的な進化:** 以前のバージョン(GPT-4 など)との違いや強化された機能
- **性能や精度:** 自然言語処理の向上、レスポンス速度、コンテキスト保持能力など
- **用途や活用事例:** どのような分野や用途で活用されているか
- **ユーザーの評判や評価:** SNS、レビューサイト、専門家の意見など
- **制約や課題:** どのような問題点や制約があるのか
- **価格や利用プラン:** 有料・無料の違いやアクセス方法

調査結果がまとめ次第、お知らせします。

ChatGPT 4.5 に関する詳細調査報告

1. 技術的な進化 (GPT-4 など以前のモデルとの違い)

ChatGPT 4.5 (GPT-4.5) は、OpenAI が 2025 年 2 月 27 日に発表した最新の大規模言語モデルです ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。GPT-4 から技術的に大きく進化しており、以下の点で強化されています。

- **モデル規模と知識量の拡大:** GPT-4.5 は「これまでで最大かつ最も知識が豊富なモデル」と公式に位置付けられています ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。GPT-4 をベースに事前学習データをさらに大規模化して訓練されており (OpenAI 内部ではコードネーム「Orion」と呼称) ([GPT-4.5 完全ガイド: 知識量と「エモさ」が強化された最大にして最後の非推論モデル | AI じゃないよ](#))、世界知識のカバレッジが飛躍的に向上しています。学習データの最終時点 (ナレッジカットオフ) は 2023 年 10 月と、以前のモデルより新しい情報まで含まれています ([【Orion】GPT-4.5、遂に解禁! 使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所](#))。
- **非推論型モデルへの特化:** GPT-4.5 は、モデル自身が回答生成前にチェーン・オブ・ソート (逐次推論) を行う「推論型」ではなく、膨大な事前学習データによる知識強化に特化した「最後の非推論モデル」とされています ([GPT-4.5 完](#)

[全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AI じゃないよ](#)。つまり、推論プロセスを内蔵した GPT-4 の派生モデル (OpenAI の。シリーズ) とはアプローチが異なり、[データスケールの拡大によって知識量と直感的応答力を底上げしています \(『Orion』 GPT-4.5、遂に解禁！ 使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所\)](#) ([『Orion』 GPT-4.5、遂に解禁！ 使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所](#))。

- **感情表現・個性の洗練:** OpenAI の研究者によれば、GPT-4.5 はより「温かく直感的な」会話スタイルを持つよう調整され、人間と協働しやすい個性を備えています ([「GPT-4.5」リリース。OpenAI いわく“最大かつ最も知識豊富”なモデル | Gadget Gate](#)) ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AI じゃないよ](#))。ユーザーの感情ニュアンスをより深く理解し、適切に反応を調整できるよう開発されており、従来より人間らしい対話が可能になっています ([「GPT-4.5」リリース。OpenAI いわく“最大かつ最も知識豊富”なモデル | Gadget Gate](#))。
- **RLHF と新たな訓練手法の導入:** GPT-4.5 の訓練には、これまでの教師あり微調整 (SFT) や人間のフィードバックによる強化学習 (RLHF) に加えて、OpenAI 独自の新しい監視技術が組み合わされています ([「GPT-4.5」リリース。OpenAI いわく“最大かつ最も知識豊富”なモデル | Gadget Gate](#))。この結果、モデルの**幻覚 (ハルシネーション)** 発生率が大幅に低減し (後述) ([「GPT-4.5」リリース。OpenAI いわく“最大かつ最も知識豊富”なモデル | Gadget Gate](#))、より事実に基づいた出力が得られるよう改良されています。
- **コンテキスト長と入力形式:** GPT-4.5 ではモデルが保持できるコンテキスト (文脈) の長さが 128,000 トークン (約 10 万語程度) に拡張されました ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AI じゃないよ](#))。これは GPT-4 (8k~32k トークン) の最大長を大幅に上回り、長文ドキュメントの解析や長時間の対話にも対応できます。また GPT-4 と同様にテキストだけでなく画像の入力にも対応しており、ファイルアップロードやウェブ検索と組み合わせたマルチモーダルな情報処理が可能です ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AI じゃないよ](#)) (※音声入力や動画・画面共有機能は現時点では未対応 ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AI じゃないよ](#)))。
- **効率性の向上:** モデルの計算効率が大幅に向上しているのも技術的進化のポイントです。OpenAI によれば GPT-4.5 は GPT-4 比で 10 倍以上の計算効率を実現し、同等の課題をより短時間・少リソースで処理できます ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN](#))

[公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。これによりモデル自体は巨大化したものの、適切なインフラ上では応答速度やスループットが向上するよう最適化されています。

以上のように、ChatGPT 4.5 はより大量の知識と改善された学習手法によって GPT-4 から強化され、対話 AI としての自然さ・知性ともに進化を遂げています。

2. 性能や精度の向上 (NLP 能力・レスポンス速度・文脈保持・対話品質)

ChatGPT 4.5 では、自然言語処理の性能や応答の精度が全般的に向上しています。具体的には次の点が挙げられます。

- **対話の自然さと文脈理解:** GPT-4.5 との対話は「思慮深い人物と話しているよう」に感じられるほど自然で滑らかだと評されています ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。文脈の保持・理解力も向上し、長い会話でも以前より一貫性のある応答が期待できます ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。OpenAI の内部評価でも、GPT-4.5 は従来モデル(GPT-4 系)よりほぼすべての評価項目で優れた成績を収めたと言われています ([「GPT-4.5」リリース。OpenAI いわく“最大かつ最も知識豊富”なモデル | Gadget Gate](#))。
- **応答精度と幻覚率の改善:** 事実に反する回答(幻覚)の頻度が大幅に減少しました。OpenAI 独自の「SimpleQA」ベンチマークでは、GPT-4.5 の正解率 62.5%に対し GPT-4(GPT-4o モデル)は 38.2%と、大きく精度が向上しています ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。同ベンチマークでの幻覚発生率も GPT-4.5 は 37.1%と、GPT-4o の 61.8%から大幅低減しました ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。多岐にわたる知識質問で誤答が減り、より信頼性の高い応答を返す傾向が確認されています。「以前のモデルより幅広いトピックでハルシネーションが減った」と公式にも発表されています ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。
- **レスポンス速度の向上:** 大規模化に伴う最適化により、回答生成のスピードが飛躍的に向上しました。ユーザーからも「GPT-4.5 は応答開始が非常に速

く、重い質問でも数秒で返答が始まる」といった声が出ています ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#))。内部的なチェーンオブソート推論を行わない設計のため、思考に時間を要さずリアルタイムに近い対話体験を提供します ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#)) ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#))。これは GPT-4 で指摘されていた応答の遅さを大きく改善するポイントです。

- **長大なコンテキスト保持:** コンテキストウィンドウ拡張(128Kトークン)により、長文入力や長い対話履歴の保持能力が向上しました ([GPT-4.5 完全ガイド: 知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。長編の文章要約や複雑なドキュメント分析、あるいは数十ターンに及ぶ対話でも、一貫した応答が得られやすくなっています。モデルが一度に考慮できるテキスト量が増えたことで、より広範な情報を踏まえた回答が可能です。
- **多言語・創造的タスクへの強み:** GPT-4.5 は多言語理解や創造的な文章生成能力も向上しています。多言語知識テスト(MMLU)では前世代を上回るスコアを記録しており ([GPT-4.5 完全ガイド: 知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))、「複数の言語で対話がさらにスムーズになった」というユーザー評価もあります ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上のロコミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。また文章のスタイル変換や創造的な問題解決も得意になり、「書きぶりが向上し、ハルシネーションも減少している」と評されています ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上のロコミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。
- **タスク遂行力の強化(コーディング等):** 前モデルに比べ、問題解決やコード生成の能力も高まっています ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。プログラミングに関しては、デバッグやコード修正の正確さが向上し、最新の GPT-4.5 Turbo 版では**バグ検出・修正能力が Claude 3 を上回った**との検証報告もあります ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#))。日常的な文章作成から専門的なコーディングまで、幅広いタスクでアウトプットの質が底上げされています。

以上のように、ChatGPT 4.5 は**応答の質・速さ・信頼性**の面で GPT-4 より確実に改良されており、ユーザーとの対話体験が一段と向上しています。

3. 用途や活用事例 (分野・具体的な利用シーン)

ChatGPT 4.5 はその高度な言語能力により、様々な分野・用途で活用範囲が広がっています。以下に主な活用事例と具体的なシーンを挙げます。

- **高度な文章作成支援:** プレスリリースの下書き、ブログ記事の構成、エッセイのドラフトといったビジネス文書や記事の作成で力を発揮しています ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。GPT-4.5 では長文の論理構成崩れや単調さが改善されており、学術的な論文調からカジュアルな口語調まで文体を自在に使い分けてメリハリのある文章を生成できます ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。そのため、プレゼン資料作成やマーケティング用コピーライティングなどでも効率化ツールとして活用されています ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。実際、ChatGPT シリーズは文章作成能力が高く評価されており、GPT-4.5 でさらに磨きがかかった形です ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#)) ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。
- **専門知識を要する問答・リサーチ:** GPT-4.5 は医療、金融、法務、テクノロジーといった専門分野の知識が強化されており ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))、最新の医療ガイドラインや特許情報など高度な情報にも基づいて回答を生成できます ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。例えば医療分野では疾患の解説やガイドラインの要約、法律分野では判例の整理や契約書ドラフトの下書き支援など、各業界のプロフェッショナルの補助として活用が進んでいます。ビジネスリーダーにとっても、市場動向や技術トレンドに関する深い洞察を得るための調査パートナーとして GPT-4.5 を使うことで、新たな示唆を得やすくなるとの指摘があります ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。もっとも、絶対的な正確性は保証されないため人間による検証は依然必要ですが、カバー範囲拡大のメリットは大きいとされています ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。
- **コード生成・デバッグ:** ソフトウェア開発分野でも GPT-4.5 はコーディングアシスタントとして活躍しています。プログラミングの質問に対する回答精度が上がり、アルゴリズムの提案からコードのバグ修正まで、開発者をサポートする事例が増えています ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比](#)

[較 | ガー助](#))。特にデバッグでは、エラーメッセージの解釈や修正コードの提示が的確になっており、GPT-4.5 が提案した修正コードの品質が他モデル (Anthropic Claude など) を上回ったとの報告もあります ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#))。これにより、日常的なプログラミング作業の効率化や新人エンジニアの教育支援などに利用されています。

- **カスタマーサポート・対話エージェント:** GPT-4.5 の感情理解と丁寧な応答能力は、企業のカスタマーサポートチャットボットに活用されています。ユーザーの感情に寄り添ったリアクションが可能になったことで、例えばクレーム対応のシナリオでは適切な謝罪や共感を示しつつ解決策を案内するといった**人間味のある対応**が期待できます ([GPT-4.5 徹底解説: 最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。問い合わせ窓口や相談チャットで GPT-4.5 を導入し、機械的な定型応答から脱却して顧客満足度を高める取り組みが始まっています ([GPT-4.5 徹底解説: 最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。実際「まるで人間と会話しているよう」と評される自然さは、この領域で大きな強みとなります。
- **教育・学習支援:** より高度な知識と分かりやすい説明力を備えた GPT-4.5 は、**教育の現場**でも活用されています。学生の質問に対して噛み砕いた解説を提供したり、難解な教科書の内容を平易な言葉でまとめたりといった用途です。例えば「海水はなぜ塩辛いのか?」といった質問にも、GPT-4.5 は雨水による岩石の塩分溶出から川による運搬、蒸発による塩分濃縮まで簡潔に説明するなど ([【Orion】GPT-4.5、遂に解禁！使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所](#))、子供にも理解しやすい回答例が報告されています。こうした**チューター的な使い方**は、自主学習や新人研修などで今後ますます増えるとみられます。
- **その他の活用シナリオ:** ChatGPT 4.5 は上記以外にも、**クリエイティブなアイデア発想支援**(物語のプロット作成やブ rainstorming)、**大量データの分析・要約**(長大なレポートの要点抽出、議事録の自動生成)など幅広い場面で試用されています。また OpenAI 自身も、ユーザーの現実世界のタスクを代行する実験的 AI アシスタント「Operator」を公開するなど、チャット AI を実用サービスに組み込む動きを見せています。GPT-4.5 は API 経由で関数呼び出しやツール連携も可能なため、チケット予約や買い物代行といった**エージェント的タスク**に組み込み、実行する応用例も期待されています。

このように、ChatGPT 4.5 は文章生成から対話型エージェントまで多岐にわたる領域で利用が始まっており、その高性能ゆえにビジネス・創作・教育等で不可欠なツールとなりつつあります。

4. ユーザーの評判や評価（SNS・レビュー・専門家の意見）

ChatGPT 4.5 の登場に対し、SNS やコミュニティでは賛否両論の評価が上がっています（[GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#)）。主な肯定的な意見と否定的な意見を以下にまとめます。

● 肯定的な評価

- **会話がより人間的:** 「GPT-4.5 はユーザーの感情をより正確に理解し、自然な会話ができるようになった」と、多くのユーザーが対話の人間らしさを評価しています（[GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#)）。感情的知性(EQ)の向上によって、従来より温かみのある応答になった点を称賛する声があります。
- **多言語対応の強化:** 「GPT-4.5 は複数言語での対話がさらにスムーズになった！」との声があり、英語以外の言語でも流暢に応答できる点が歓迎されています（[GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#)）。グローバルでの利用範囲拡大に寄与するアップデートだと好意的に受け止められています。
- **創造的・実務的能力の向上:** 「文章作成(ライティング)能力が向上し、幻覚も減少している」といった指摘（[GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#)）のように、出力コンテンツの質が上がった点を評価するユーザーも多いです。実際に GPT-4.5 を使ったユーザーからは「以前より論理的で説得力のある文章になった」「コードのミスが減った」といった具体的な改善報告が上がっています。また、開発者コミュニティでは API 経由で試したベンチマーク結果を詳細分析し、「確かにパフォーマンス向上が見られる」と評価する専門家(例: Simon Willison 氏)もいます（[GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#)）。
- **応答速度への驚き:** SNS 上では「驚くほど応答が速い」「待ち時間がほぼない」と、GPT-4.5 の高速応答を称える投稿も散見されます（[プロモード](#)）。

[\(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#))。GPT-4 ユーザーだった人ほど、このスピード改善に強いインパクトを感じているようです。

● 否定的な評価

- **コスト面の不満:** 最も多い批判の一つは利用コストの高さです。あるユーザーは「API の利用料金が高すぎる。プロ向けとはいえ、このコストに見合う性能なのか疑問」だと述べ ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))、別のユーザーも「GPT-4.5 は期待外れ。高いだけで以前のモデルと大きな違いを感じない」と不満を表明しています ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。月額 200ドルの Pro プラン限定という点も敷居が高く、「一般ユーザーには手が届かない」との声も上がっています。
- **性能向上が限定的との指摘:** 一部ユーザーは「所詮 GPT-4 の強化版にすぎず、革命的な進化ではない」と冷ややかです ([GPT-4.5 徹底解説: 最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 Alworker](#))。実際、GPT-4.5 はフロンティア(最先端)モデルではないと明言されており ([GPT-4.5 徹底解説: 最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 Alworker](#))、「期待していたほどのブレイクスルーは感じられない」「確かに良くなっているが驚くほどではない」といった声があります ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。例えば「Anthropic 社の Claude 3.7の方が優秀では？ GPT-4.5 はそれほど大きな変化がない」と他社モデルと比較して物足りなさを述べるユーザーもいました ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。
- **提供範囲・方針への不満:** 「Plus ユーザーにもすぐ使わせてほしかったのに、GPU 不足でできなかったとは残念だ」といったように、リリース当初 Pro 限定だった提供範囲に不満を示す声もありました (OpenAI CEO の Altman 氏自身、Plus ユーザーへの即時提供を望んだがハード不足で叶わなかったと説明しています ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#)))。また、一部には「もっとマルチモーダル機能を期待したが音声対応すら無い」と、機能面での批判も見られます ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。
- **今後への様子見:** 全体として、「現時点ではまだ完璧ではないが今後のアップデートに期待する」という慎重な意見も少なくありません ([GPT-4.5 の評価まとめ: X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。GPT-4.5 は研究プレビ

ユーザーであり発展途中という位置付けから、ユーザーも継続的な改良に期待している状況です。

このように ChatGPT 4.5 への評価は様々ですが、**会話品質の向上や高速化を評価する肯定派と、コストや期待値とのギャップを指摘する否定派に大きく分かれています**（[GPT-4.5 の評価まとめ:X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#)）。しかし総じて、「**着実な進化を遂げたアップグレード版**」であること自体は認識されており、今後一般ユーザーに広がるにつれて評価も変化していくと考えられます。

5. 制約や課題（問題点や改善点、ユーザーフィードバック）

高性能な ChatGPT 4.5 ですが、現時点で指摘されている**制約や課題**もいくつか存在します。

- **利用コスト・リソースの高さ**: 最大の課題は**計算資源コストの高さ**です。モデルが極めて巨大なため、API 利用料金は GPT-4 の約 30 倍という非常に高額な設定になっています（[GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#)）。具体的には入力が 100 万トークンあたり 75 ドル、出力が同 150 ドルと、従来モデルでは考えられない水準です（[GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#)）。その結果、「現状の性能向上に対して 30 倍のコスト増は見合わないのでは」と開発者から指摘されるなど（[GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#)）、**費用対効果に課題を抱えています**。ChatGPT も月額 200 ドルの Pro プランのみの提供（Plus ユーザーには後日解放予定）であり、一般ユーザーには事実上手の届かない存在です（[OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#)）（[GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#)）。この高コスト体質をどう緩和するかが普及の鍵となります。
- **提供対象の限定とスケーラビリティ**: 前述の通り、GPT-4.5 はリソースの都合上、当初は限定されたユーザー（Pro プラン、API 開発者）のみに提供されました（[GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#)）。Plus や Enterprise への展開には十分な GPU 増

強が必要で、OpenAI は大量の GPU 追加を急いでいるとされています ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。インフラストラクチャの制約により即座に全ユーザーに行き渡らない点は、ユーザー体験の観点で課題です。今後クラウド基盤の拡充やモデル軽量化によって、Plus や無料ユーザーも含め広範に使えるようにすることが望まれています。

- **推論能力の限界:** GPT-4.5 は知識量重視の非推論型モデルであるため、複雑な論理推論や高難度の数学問題では限界があると指摘されています ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。実際、科学 QA や数学競技試験など厳密な推論を要するタスクでは、推論特化型のモデル (OpenAI の o1/o3 モデルなど) に劣る結果も出ています ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#)) ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。例えば数学コンテスト形式のベンチマークでは、チェーン・オブ・ソート推論を導入した小型モデルに大差をつけられるケースもありました ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。このため「高度な推論が必要な場面では依然として専用モデルの方が精度が高い」「GPT-4.5 は丸暗記型の優等生といった感じ」と分析されています ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。今後、GPT-4.5 の知識量と推論力の双方を備えた次世代モデル (GPT-5 など) の開発が課題と言えます。
- **依然残る幻覚と誤答:** 幻覚率は減ったとはいえ、GPT-4.5 でも誤った内容を答えてしまうリスクは残存します。OpenAI の難易度の高い内部評価では約 19% の質問で幻覚が確認されたとの指摘もあり ([OpenAI GPT-4.5 System Card : r/singularity](#)) ([OpenAI GPT-4.5 System Card : r/singularity](#))、「絶対に正確というわけではなく都度ファクトチェックは必要」と専門家も注意喚起しています ([GPT-4.5 徹底解説:最新 AI 言語モデルの衝撃とビジネスで使い倒す方法 | 株式会社 AIworker](#))。特に最新のニュースやモデルの知識外のニッチな話題では不確かな回答もありうるため、人間による検証とガイドを組み合わせる運用が欠かせません。
- **未対応の機能領域:** GPT-4.5 はテキストおよび画像には対応していますが、音声入出力や動画解析、リアルタイム画面操作などのマルチモーダル機能には未対応です ([GPT-4.5 の評価まとめ:X 上の口コミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#)) ([GPT-4.5 の公式情報を確認して冷静になった](#))。音声での対話 (Voice Mode) や動画コンテンツの理解などは、今後のアップデートに委ねら

れています ([『Orion』 GPT-4.5、遂に解禁！使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所](#))。ChatGPT として提供されている機能も GPT-4 相当で、大きな新機能追加はない状態です ([GPT-4.5 の公式情報を確認して冷静になった](#))。このため「音声まで含めた統合 AI」としては物足りないとの声もあり、将来的にこれらマルチモーダル機能を統合することが課題となっています。

- **その他の課題:** 安全性面では、OpenAI の安全性評価において GPT-4.5 は総合的に「中程度のリスク」に分類されています ([OpenAI announces GPT-4.5, its largest and most knowledgeable model yet - Neowin](#))。不適切な内容の抑制やデータ漏洩防止の対策は講じられているものの ([『Orion』 GPT-4.5、遂に解禁！使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所](#)) ([『Orion』 GPT-4.5、遂に解禁！使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所](#))、偏見の排除や悪用防止など AI モデル共通の課題は引き続き取り組みが必要です。また、ユーザーからは「Plus では GPT-4.5 と GPT-4 を用途に応じて使い分けたい」との要望も聞かれます。高度推論には旧モデル(またはプロモード)、汎用会話には GPT-4.5 が適しているとの指摘 ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#)) ([プロモード \(ChatGPT o1 Pro\) と GPT-4.5 の詳細比較 | ガー助](#)) もあり、ユースケースに応じた最適なモデル提供という観点でも改善の余地があります。

以上より、ChatGPT 4.5 は性能面で大きく前進した一方、**計算資源・コストの問題、推論力の限界、完全な信頼性の欠如**といった課題を抱えています。これらを解決しつつ、より多機能で安全な AI へ進化させることが今後のテーマと言えるでしょう。

6. 価格や利用プラン (利用プラン・無料版との違い・アクセス方法)

ChatGPT 4.5 を利用するには、**有料の上位プラン**もしくは API の利用が必要となります。現行のプラン体系とアクセス条件は以下の通りです。

- **ChatGPT Free (無料版):** 無料ユーザーが使用できるのは従来モデル (GPT-3.5 Turbo など) であり、GPT-4.5 は**無料版では利用不可**です。無料版では回答速度やコンテキスト長にも制限があり、最新モデルの機能・性能にはアクセスできません。
- **ChatGPT Plus (月額 20ドル程度):** 有料の Plus プランではこれまで GPT-4 が利用可能でしたが、GPT-4.5 については**提供準備中**です (リリース当初は

未提供) ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。OpenAI は GPT-4.5 を Pro 以外にも順次開放予定としており、数万台の GPU 増設を経て近日中に Plus ユーザーも GPT-4.5 を利用可能になる見込みです ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。Plus プラン加入者は、ChatGPT のモデル選択で GPT-4.5 が選べるようになり次第、追加料金なしで利用できると予想されま
ず(現状は GPT-4 まで利用可)。

- **ChatGPT Pro(月額 200ドル):** GPT-4.5 はリリース時点で ChatGPT Pro 限定で提供されています ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。Pro プラン加入者は Web やモバイルアプリのモデル選択メニューから GPT-4.5 を選び対話可能です ([GPT-4.5 の公式情報を確認して冷静になった](#))。高額なプランですが、より高速な応答や優先アクセス、大容量コンテキストの活用などプロ向け機能をフルに使えます。月額 200ドル(約 3 万円)という価格設定は個人にはハードルが高いものの、先行して最新モデルを試したい開発者や企業ユーザー向けのプレミアムプランとなっています ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。
- **ChatGPT Team/Enterprise/Edu プラン:** OpenAI は Plus/Pro 以外にも、チーム向けや企業向け、教育機関向けのプランを展開しています。GPT-4.5 も Enterprise プラン等では順次利用可能になる予定で、2 週間以内に教育版・企業版ユーザーにも展開する計画が示されています ([【Orion】 GPT-4.5、遂に解禁！使い方とその性能など解説 | ChatGPT 研究所](#))。エンタープライズ契約ではユーザー数に応じた料金で GPT-4.5 を含む高度な AI 機能を利用でき、アクセス方法も企業専用のインターフェースや API 連携となります。
- **OpenAI API での利用(従量課金):** 開発者は OpenAI の API を通じて GPT-4.5 を呼び出すことができます。全ての有料ティアの開発者にプレビュー提供されており、使用料に基づく従量課金制です ([OpenAI announces GPT-4.5, its largest and most knowledgeable model yet - Neowin](#))。価格は前述の通り高額で、入力が 75ドル/100 万トークン、出力が 150ドル/100 万トークンに設定されています ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))(1トークンは約 1 語程度)。GPT-4 (8k 版)の API 価格(\$0.03/1k 入力・\$0.06/1k 出力)と比べても桁違いで ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))、この料金設定は「GPT-4o の 30 倍、GPT-4o mini

の約 500 倍」に相当します ([GPT-4.5 完全ガイド:知識量と”エモさ”が強化された最大にして最後の非推論モデル | AIじゃないよ](#))。したがって、API 経由で GPT-4.5 を使うには相応の予算が必要ですが、**Chat Completions API** や **新しい Assistants API** でも利用可能で、関数呼び出しやストリーミングなど高度な機能もサポートされています ([OpenAI announces GPT-4.5, its largest and most knowledgeable model yet - Neowin](#))。API 利用開始には OpenAI のアカウントと決済設定が必要で、現在は利用ティアによる使用制限は設けられていません ([GPT-4.5 の公式情報を確認して冷静になった](#))。Azure OpenAI 経由でも GPT-4.5 が提供開始されており、Azure の審査通過後に利用できるようになっています ([GPT-4.5 の公式情報を確認して冷静になった](#)) ([GPT-4.5 の公式情報を確認して冷静になった](#))。

無料版と有料版の違いとしては、シンプルに言えば **GPT-4.5 を使えるか否かが大きな差**です。無料ユーザーは依然 GPT-3.5 系モデルのみで、最新モデルの性能や大規模コンテキストを享受できません。一方 Plus/Pro ユーザーは(近く Plus にも開放されれば)GPT-4.5 を利用でき、高度な対話や長文処理が可能になります。また Pro プランは Plus に比べ料金が 10 倍高い分、**最速で新モデルへアクセスできるメリット**や **ビジネス利用を想定した優先度が与えられています** ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#))。

アクセス方法としては、ChatGPT の Web 版または公式アプリにログインし、モデル選択メニューから「GPT-4.5」を選ぶだけで対話を開始できます ([GPT-4.5 の公式情報を確認して冷静になった](#))。API 利用の場合は OpenAI が提供するエンドポイントにリクエストを送り、モデル指定を「gpt-4.5」に設定することで応答を得られます ([OpenAI announces GPT-4.5, its largest and most knowledgeable model yet - Neowin](#))。いずれにせよ**有料契約が前提**となる点に注意が必要です。

以上、ChatGPT 4.5 の技術的進化から性能、活用事例、ユーザー評価、課題、そして価格・利用プランまで最新情報をまとめました。GPT-4.5 は**知識量・対話品質で大きく前進したモデル**ですが、その高性能ゆえのコストや一部機能不足といった課題も浮き彫りになっています。公式の研究プレビューとして位置付けられるこのモデルが、今後 Plus ユーザーや幅広い開発者に行き渡り、フィードバックを経てより洗練されていくことで、AI との対話体験はさらに身近で有用なものへと進化していくでしょう ([OpenAI が最新モデル「GPT4.5」発表、思慮深い人と話しているように | Forbes JAPAN 公式サイト\(フォーブス ジャパン\)](#)) ([GPT-4.5 の評価まとめ:X 上のロコミから見る実態 | ハヤシ シュンスケ](#))。

